

分野：③水

総合学習環境講座「水の旅」

環境アドバイザー 谷合 宣明

対象 新座市立新開小学校 5年（71人）

所要時間  45分

場所 5年生教室

実施時期 令和3年10月27日

概要

地球上を循環している水を、水の旅と称して展開。
特に私たちが使っている生活水は、川の水を浄水場でエネルギーを使って浄化するのに CO₂ を出すことを学ぶ。

プログラムの
ねらい

水が大切な資源であること、生活水を作るためには大量の電気を使うので、CO₂ を出すことに焦点を当てた授業にする。

プログラムの内容

1 水の循環（15分）

- 世界の水が循環していること

2 エチオピアの水くみ（10分）

- 一日30ℓの水をくむために5時間もかけていることの紹介（スライド）

3 新座の飲み水の話（10分）

- 荒川と利根川の川水を浄水場で県水として引いてきて市の貯水場で井戸水と混ぜていること。
- 浄水場では水をきれいにするためにエネルギーを使っているため CO₂ を出していること。

4 生活の中でも水を大切にしよう（10分）

- 歯磨き、風呂など水を大切にできることを全員から吸い上げた。

受講者の反応

世界の水のうちで飲める水がすごく少ないのに驚いた。

川の水を飲める水にするのに、電気をすごくつかうのにビックリしました。

